

2021年 年頭の挨拶（防災無線）

大玉村長 押山利一

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年の初めにあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃より村政全般にわたりご理解とご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

昨年より、新型コロナウイルスが猛威を振るい、社会生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

コロナ対策として、子供達の感染予防に重点を置き、アルコール消毒薬やマスクの提供などに努めてまいりました。

また、感染拡大による村内事業者等の収入減少に対して、経営持続化交付金などの補助を実施、また、マスクなどを購入していただくため各世帯に商品券を配付させていただくなど、各種支援に努めてまいりました。

今後も新型コロナウイルスや経済活動の動向を注視し、引き続き必要な支援策を実施してまいります。

このような状況下にあっては、自ら感染しない、大切な人に感染させないために、「新しい生活様式」に沿った一人ひとりの自覚ある行動が重要となります。一日でも早く、感染拡大が収束に向かうよう、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

また、昨年に引き続き「健康長寿の村づくり」と「大玉産米のブランド化」を進めてまいります。特に健康長寿推進を目的とした「健康ポイント制度」は昨年1月にスタートしました。多くの皆様方の参加をお願いいたします。

米のブランド化については、今後も、福島大学食農学類とタイアップして行ってまいります。

今後も、持続可能な農業を推進するための村農業振興公社設立の推進や、商工業の振興、財源の確保により保育士の待遇改善を行うなど、待機児童を出さないための保育所の村社会福祉協議会への運営移管、2台に増車した「たまちゃんタクシー」の運行充実などに引き続き取り組んでまいります。

また、子育て支援策としては、保育所第1子保育料の減免や、小中学校給食費の減免を更に行うべく、検討を進めてまいります。

教育におきましては、村の将来を担う子供たちの情報教育の推進のため、一人一台のタブレット端末を配置し、利活用を進めてまいります。

今後10年間の新たな村づくりの事業計画そして指針となる、第5次大玉村総合振興計画が始まります。この中で、国道4号沿線利活用推進と、交通アクセスの利便性を高めるため、スマートインターチェンジ誘致に取り組んでまいります。

大玉村は、「ふるさと景観保護条例」制定の村として、「大玉村太陽光発電設備と自然環境との調和に関する条例」を制定しております。この条例の目的達成のため、事業者に対する適切な指導を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大玉村は、人口減少社会の中で、人口を維持しております。

特に、年少人口の割合は県内一高い状況にあります。

「人は活力の源」であります。

今後も、子育て支援、定住化促進をはじめ村活性化のための各種施策を継続して実施してまいります。

以上、施策の一端を述べさせていただきました。

本年も、小さいからこそ可能な村のメリットを生かし「村

民に日本一近い村政」を念頭に「小さくとも輝く 大いなる田舎 大玉村」の実現に向け、職員一丸となって邁進してまいり所存であります。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしますと共に、村政への更なるご支援、ご協力を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ありがとうございました。